

ご挨拶

四国88ARDF競技大会組織の発足に際しまして、一言ご挨拶申し上げます。

これまで、毎年1月下旬に香川県内をテレインとして「新春ARDF練習会」を開催して参りましたがご参加の皆様方から、出来る事なら公認大会として実施して欲しいとのご要望をいただいております。

しかしながら、新型コロナの流行で社会活動やイベント等も激減する中、ARDF競技大会自体もその開催が減少して来ました。この分では益々競技大会や練習会が遠いものになってしまいそうです。

そこで、ウイズコロナ時代の幕開けとして、感染対策に十分留意した新しいスタイルでの競技会を企画して行こうと、香川県と徳島県の有志が立ち上がりました。

会合を重ね、名称を「四国88ARDF競技大会」と命名し、念願のJARL公認大会の定期的並びに恒久的な開催を目指します。四国88、と命名したのは、四国のイメージを代表する名称だけではなく、四国地方でのARDF公認大会を実施する場合、いつでもサポートする体制を主旨としています。

四国のARDF競技大会は、各県支部大会、四国地方大会などがありますが、支部大会が出来ない県もあり、その数は決して多い方ではありません。四国外の大会に参加するには瀬戸大橋、大鳴門橋や明石海峡大橋を渡るため、費用も時間も必要になって来ます。これは新しくARDFを始めたい人たちには最初からハードルが高くなってしまいます。そんな方々も含めて四国の中で1つでも多くの公認大会を楽しんで頂ければと願っております。他の地方の皆さんも一緒に、是非ともご参加をお願い致します。どうか未永く「四国88ARDF競技大会」を宜しくお願い致します。 2022年12月吉日

四国88ARDF競技大会 実行委員会